

(県協働部署用) 協働事業評価・報告書

事業名	隙間時間活用による高齢者職場還流プログラム推進事業
団体名	特定非営利活動法人 Y U V E C
県協働部署名	いのち・未来戦略本部室
事業期間	令和 4 年 4 月 1 日 ~ 令和 5 年 3 月 31 日

1 個別事業ごとの実施結果

事業 1	高齢者活用企業ネットワーク構築事業
(1)実績・成果に対する評価 ※実績や成果についてどのように考えているかを記入してください。	<p>企業ネットワーク作りのために企業経営者と大学等の研究者で構成される会員制の研究会（以下「MDH研究会」という。）を 6 回(平均出席者数約 18 名)、公開シンポジウムを 2 回（平均出席者数約 45 名）開催した。新型コロナウイルス感染症感染防止のため、オンラインで開催していたが、1 月以降はオンラインを併用しつつリアルで開催した。専門性を有するシニア人材活用におけるノウハウの共有や展開をしたことで、MDH研究会参加企業と更なるネットワークが構築されたが、MDH研究会参加企業数の増加には至らなかった。（新規参加 1 社、退会 1 社）</p> <p>企業のニーズに対応していくため、アンケート調査及びアンケート後のインタビュー（10 社）を実施した。また、アンケート調査結果は、専門家の協力も得ながら多面的に分析し、過去 4 年間にわたって取り組んできた活動内容を踏まえ、公開シンポジウムで報告した。研究会に参加するメリットに繋げ、負担金事業終了後も参加企業数が増加することを期待する。</p>
(2)目標の達成状況	<p>ア) この事業の進捗は何%ぐらいですか。 (70%) ※1 年間で目標が達成できた場合に「100%」になることを基準に判断してください。</p> <p>イ) 上記ア) のように判断した理由を記入してください。 研究会や公開シンポジウム、アンケートは計画どおり実施したが、MDH研究会参加企業数の増加に繋げることができなかったため。</p> <p>ウ) この事業の課題と対応策 事業に関わる企業等を増加させることが課題である。 コロナ禍が収束しつつある状況で、対面での面談を増やす、研究会や公開シンポジウムで繋がったネットワークを活かした新たな企業等との連携や、アンケート調査で新たに繋がった企業等にMDH研究会に参画することのメリットを説明するなど、本事業に関わる企業等を増やしていく。</p>

事業 2	職業紹介事業
(1)実績・成果に対する評価 ※実績や成果についてどのように考えているかを記入してください。	<p>徐々に求人環境が改善され、求人企業に求職者を紹介する活動に加えて、求職者に求人企業を紹介する案件も出てきた。</p> <p>前年度からの継続 18 件、新規のシニア求人 2 件の計 20 件求人案件があり、うち会員企業からの求人案件でマッチングが 1 件成立した。また、本事業の波及効果として、MDH会員企業間でのマッチング成功例が 2 件あった。</p> <p>今後も、MDH研究会間同士の人材ネットワークの拡</p>

	大を図るとともに、成果が出ることを期待する。
(2) 目標の達成状況	ア) この事業の進捗は何%ぐらいですか。 (50%) ※1年間で目標が達成できた場合に「100%」になることを基準に判断してください。
	ロ) 上記ア)のように判断した理由を記入してください。 求人件数及びマッチング件数ともに減少したため。
	ウ) この事業の課題と対応策 求人件数及び求職者数を更に増加させることが課題である。 対面での面談とオンライン会議等を柔軟に活用し、企業や関係団体への働きかけを継続して新たな企業や人材ネットワークとなる団体の参画を増やしていく必要がある。

(注) 個別事業が2つ以上ある場合は、上の表を複写して記入してください。

2 協働事業を継続する上での課題とその対応策

令和4年度 協働事業終了

3 負担金事業終了後の貴課の考え方

シニアにおける“隙間時間”活用と働き方改革のモデルとなる本事業は、シニア人材の雇用・活用の促進を図り、人生100歳時代における一人ひとりの人生の充実に寄与する。負担金事業終了後も必要に応じて広報や周知等に協力するなど、かながわ人生100歳時代ネットワークとの連携等を図る。

4 協働事業の評価 (はい・いいえ・どちらともいえない、に該当するものを残してください)

1 協働事業の成果		
(1)	協働することで、単独で事業を行うよりも効果やメリットがありましたか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(2)	事業の受益者の満足を得ることができたと思いますか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(3)	協働事業の成果だと思ふことがあれば記入してください。 MDH研究会参加企業と更なるネットワークが構築されることで、シニア人材の雇用・活用への体制が整い、人生100歳時代における一人ひとりの人生の充実に寄与したものとする。	

2 協働事業の協議の状況		
<企画段階>		
(1)	事業計画や目標の立て方について、県と団体とは事前の調整や協議を十分行いましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(2)	県と団体とは対等な立場で協議を行いましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
<実施段階>		
(3)	意思の疎通を円滑にし、事業の進捗状況を確認するため、県と団体とは節目ごとにメールや電話でのやりとりや定期的な協議を行いましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(4)	相手方のフィールド（団体の事務所・活動現場）に足を運び、団体の置かれている状況や立場についての理解に努めましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(5)	必要な情報を団体と共有することができましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(6)	協議についての課題があると思われる場合は、記入してください。	
3 協働事業の役割分担		
(1)	団体との役割分担は適切でしたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(2)	協働事業の実施にあたって、あらかじめ定められた役割を果たすことができましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(3)	役割分担についての課題があると思われる場合は、記入してください。	
4 協働事業全体を通しての評価		
(1)	全体として、県と団体とは対等な立場で協働ができましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(2)	この事業の課題を解決する上で、協働という手法は有効だと思いましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(3)	協働事業全体を通じて気づいた点があれば記入してください。	
5 社会的認知の獲得		
(1)	取り組んでいる事業や成果について社会的認知が広がったと思いますか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(2)	(1)で「はい」を選んだ場合、どういう点で社会的認知が広がったと思うか理由を記入してください。 ホームページやチラシなどを活用した周知により、徐々に社会的認知が広がっていると考える。	
6 新たなネットワークの獲得		
(1)	この事業を実施する上で新たなネットワークをつくる（広げる）必要性がありましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(2)	(1)で「はい」を選んだ場合、ネットワークをつくる（広げる）努力を団体と共に行いましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(3)	(2)で「はい」を選んだ場合、ネットワークをつくる（広げる）ことができましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
7 行政の施策等への影響		
(1)	協働事業の実施により、県職員のボランティア団体等に対する認識の変化や行政の施策等の改善のヒントにつながるようなことができましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(2)	(1)で「はい」を選んだ場合、具体的に変化や影響があったと思われることがあれば記入してください。 研究会や公開シンポジウムの内容について、施策検討の参考になった。シニア世代が抱える課題感について知ることができた。	
8 費用対効果		
(1)	事業の効果から見て、要したコストは適切だと思いましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(2)	(1)で「いいえ」を選んだ場合、その理由と、今後の対応策を記入してください。	